

2017年認定看護管理者会総会・研修会の報告

日時：2017年1月14日（日）10：00～16：45 会場：大阪府看護協会レモンホール
参加者数：125名（委任状245名会員総数709名、参加者とで総会成立）

総会（10:00～11:10）

- 議案第1号 平成28年事業報告
- 議案第2号 平成28年会計報告・監査報告
- 議案第3号 平成29年事業計画
- 議案第4号 平成29年予算
- 議案第5号 役員改選
- 報告事項 第1号 認定看護管理者会ロゴの変更
- 第2号 第20回日本看護管理学会アンケート結果報告



すべての議案が承認されました。

2017年の事業計画

重点目標

1. 認定看護管理者として、ネットワークを活用し地域連携を進め、地域包括ケアシステムの構築に貢献する
2. 認定看護管理者会会員相互の連携を強化し、資質向上に努める
3. チーム医療をさらに推進し、他職種と協働するシステム作りに参画する

報告事項 第1号 認定看護管理者会のロゴの変更

理由 当会の英訳が直訳のままであったため、日本看護協会の認定看護管理者の英訳に合わせ変更することとなった。

旧英訳名 Recognition Nursing Manager Association

新英訳名 Certified Nurse Administrator Association

ブロック別懇談会（11:15～12:20）

2017年の重点目標に基づき、活動計画を討議しました。ブロック役員を中心に活発な意見交換ができ、今後の活動に向けて顔合わせもできました。

研修会

基調講演（13:30～15:00）テーマ「地域包括ケア時代の認定看護管理者としての役割」

講師：産業医科大学医学部 公衆衛生学教授 松田晋哉先生

内容：「地域医療構想とは」「調整会議で利用されるデータ」「豊能医療圏を例とした検討」「超高齢社会における在宅医療と看護の役割」の4点から話され、「安心を保証する機能」を果たしていくことが必要であり、看護の視点からケアマネジメントが重要で認定看護管理者への期待は大きいと締めくくられました。



実践報告（15:15～16:45）テーマ『認定看護管理者として特定行為研修修了者の活用と支援』

「看護師特定行為で当院が目指すこと」 済生会吹田病院副院長兼看護部長 池田恵津子氏

「認定看護管理者としての特定行為研修修了者の活用と支援」 豊橋市民病院看護局長菱田由紀子氏

意見交換

実践報告に対する多くの質問があり、認定看護管理者として特定行為研修修了者の活用に向けて活発な意見交換がされ、各施設での課題を明確にできたように思えた。

懇親会（17:00～19:00） 会場：ホテルモンテラ・スール大阪 参加者：約 100 名

長年当会に尽力された杉本明子会長が退任され、新たに佐藤美子さんが会長として就任されました。新会長から、これまでリーダーシップを発揮しこの会の運営に当たっていただいた杉本会長へ花束が贈呈され、和やかに懇親会が開催されました。



その後、ブロックごとの紹介があり、多彩な管理者の一芸も披露され、互いに交流をすることができました。



2017年新役員の紹介

会長：佐藤 美子 副会長：廣原 恵子 福地 洋子

常務理事：北原 和子、澤邊 綾子、森本 一美、森本 俊子、長田 佳予子

財務理事：鈴木 久美子 監事：松本 淳子、真砂 由利

北海道・東北地区：近藤 ときえ、^{しのぶ}松子

関東・甲信越地区：粕谷 文子、丸山 紀子

東海・北陸地区：植村 真美、中西 容子

近畿地区：千種 保子、原田 幸子

中国・四国地区：松本 久美子、日下 とよみ

九州・沖縄地区：福島 和代、松田 智子

